

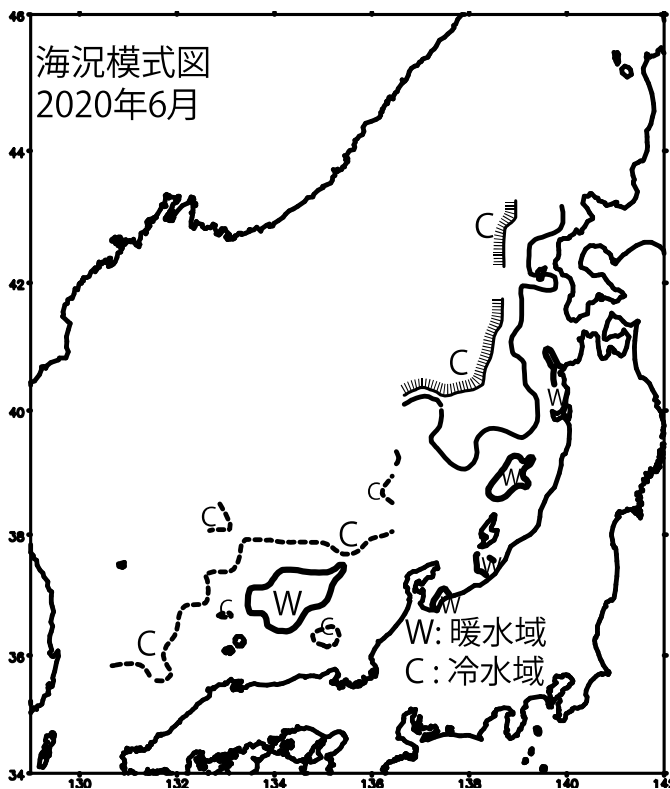


2020年度 第2回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(2020年7月中旬～9月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“かなり高め”で経過する。



2020年7月中旬～9月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は東進し、能登半島西方に分布する
- 富山湾の暖水域は北東に進み、消滅する。
- 新潟上越沿岸の暖水域は北東に進み、新潟下越沿岸に分布する
- 佐渡島北方の暖水域は北東に進み、秋田西方に分布する
- 青森臈作崎沿岸の暖水域は北東に進み、津軽半島沿岸に分布する
- 島根沖の冷水域の張り出しは、規模及び接岸状況ともに平年並みで経過する
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや接岸で経過する
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並み、接岸状況はやや離岸で経過する
- 入道崎沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所
 担当：業務推進部 永澤、後藤
 資源環境部 渡邊、和川
 電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950
 当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>

2020年度 第2回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2020年7月中旬～9月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は東進し、能登半島西方に分布する。富山湾の暖水域は北東に進み、消滅する。新潟上越沿岸の暖水域は北東に進み、新潟下越沿岸に分布する。佐渡島北方の暖水域は北東に進み、秋田西方に分布する。青森臈作崎沿岸の暖水域は北東に進み、津軽半島沿岸に分布する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模及び接岸状況ともに平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや接岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並み、接岸状況はやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況はやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“かなり高め”で経過する。

2. 経過（2020年3月～2020年5月）

- (1) 3月に隠岐諸島北東で見られた暖水域は5月まで定在。3月に佐渡島北方で見られた暖水域は5月まで定在。3月に津軽半島沿岸で見られた暖水域は5月まで定在。4月に山形沿岸に出現した暖水域は北上して5月に男鹿半島沿岸に分布。4月に富山湾に出現した暖水域は5月まで定在。5月に新潟上越沿岸に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、3月はかなり小さく接岸状況は平年並み、4月はやや小さめでやや離岸、5月はやや小さめで離岸状況は平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、3月はやや小さめではなはだ離岸、4月はなはだ小さくかなり離岸、5月はかなり小さく接岸距離は平年並み。佐渡島沖の冷水域は、3月はやや小さくはなはだ離岸、4月はかなり小さくはなはだ離岸、5月はかなり小さくはなはだ離岸。入道埼沖の冷水域は、3月はなはだ小さくはなはだ離岸、4月と5月はかなり小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、3月は、能登半島北西で“やや高め”以外、“かなり高め”～“はなはだ高め”。4月は能登半島西方、北海道北部西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、丹後半島周辺、能登半島北方、富山湾周辺、山形西方、秋田西方で“かなり高め”、渡島半島西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”、積丹半島西方で“やや低め”以外は“平年並み”～“やや高め”。5月は島根北方、兵庫但馬～丹後半島北方で“かなり低め”～“はなはだ低め”、富山湾～新潟北方、秋田西方で“かなり低め”、山形西方で“やや高め”以外は“平年並み”～“やや低め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“かなり高め”、北部では“はなはだ高め”。

3. 現況（2020年6月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北東、富山湾、新潟上越沿岸、佐渡島北方、青森臈作崎沿岸に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模・離岸距離ともに平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり小さく離岸距離は平年並み。佐渡島沖の冷水域は、やや小さくかなり離岸。入道埼沖の冷水域は、規模・離岸距離ともに平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、新潟～山形沿岸、北海道北部沿岸・西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、隠岐諸島南方、秋田西方、津軽半島西方、北海道南部西方で“やや低め”～“かなり低め”、山口北方、隠岐諸島南東～丹後半島北方で“やや低め”以外は“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では“やや高め”、北部では“かなり高め”。

(註) 引用符(” ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| ” はなはだ高め (低め) ” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| ” かなり高め (低め) ” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| ” やや高め (低め) ” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| ” 平年並み ” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産研究所	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター
	(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所